



8月4日(木)に社高等学校のグラウンドで、加東市陸上競技協会主催の**陸上競技教室**が開かれました。加東市内の子どもたちが集まり、短距離、長距離、走り幅跳び、ハードル走などに分かれて、専門の皆さんに指導していただきました。南っ子もたくさん参加していました。体力作りとして取り組んだ子、陸上競技の上達を願って挑んだ子、秋の陸上競技大会を目標にしている子。ウォーミングアップの仕方、姿勢の作り方、腕や脚の使い方など熱心に耳を傾け、一生懸命の練習風景でした。こんな教室に参加できるのも、夏休みならではの挑戦ですね。

お久しぶりです。始業式前日、夏休み最後の日にこのお便りを書いています。本当に暑い夏でした。地区水泳は、最後の最後まで大盛況でした。

このところは少し涼しい日が続いています。窓から入ってくる風も爽

やかです。青空に盛り上がる白い雲の形も、真夏のそれとは少し変わってきたような気がします。

上に、子どもたちの陸上競技教室の写真を載せています。いろんなところで、いろんなことに挑んでいる南っ子の姿を見るのは幸せです。夏休みは、と言っても職員にとっては休みではありませんが、わたしたちも様々な研修に挑みます。自分の力を磨き、子どもたちにより指導ができるように励んでいます。下の写真は、加東市内の小学校教師の希望者が集まった、陸上競技実技講習会の様子です。各小学校の体育担当者が、企画、運営をしました。本校からも数名参加しました。今年は、社高等学校陸上競技部の山田先生にお世話になり、部員の皆さんに練習方法の見本を見せてもらった後、実際にわたしたちがやってみるという形で進めていきました。かなりハードな内容でしたが、9月からの陸上競技指導が変わる！と思えるほどの成果を、各学校に持ち帰れると



左が社高校陸上競技部の皆さん。右が加東市内の小学校の教師、一生懸命では負けません。

思います。山田先生、陸上競技部員のみなさん、ありがとうございました。

夏休みにわたしたちも挑んでいるという一コマを紹介しま

したが、子どもたちの夏休みはいかがでしたか。2学期の1日目、2日目は、担任と子どもたちで**夏休みにがんばったこと**、楽しかったこと、ときには悔みを話し合うことでしょう。わたしは、それを担任から聞きます。その中からいくつか、次号で皆さんに紹介したいと思います。楽しみです。

先ほどは、秋の気配を少し書きましたが、この涼しさはあまり続かず、きっと厳しい残暑が戻ってくることでしょ。その中での運動会練習が始まります。学校は、子どもたちの体調に十分目を配りながら指導をします。ご家庭でも、睡眠、食事、水筒・タオルなどにご注意いただき、子どもたちの健康維持をよろしく願います。さあ2学期、ともに挑みましょう。



以前、子どもたちが、地域のお世話になっている方々に絵手紙を送ったということをお伝えしました。大きなスイカにかぶりつく自分の顔を描き、そこに一言お礼の言葉を添えています。どれもこれも楽しい作品ばかりでした。その絵手紙が、国際交流について学ぶクラブ(ワールドクラブ)でお世話になっている北島照子さんに届いたところが、「広報かとう」の9月号で紹介されます。

地域の皆さんいつもありがとうございます。これからもよろしく願います。